

令和4年度第4回

龍ヶ崎市健康づくり推進協議会

と き：令和5年2月10日（金）

午後1時30分～

ところ：龍ヶ崎市保健センター

…………… 次 第 ……………

1 開 会

2 議 事

報告第1号 龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画（案）に係る
パブリックコメントによる意見募集の結果について

答申第1号 龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画の策定について

3 閉 会

龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画（案）
パブリックコメントによる意見募集の結果について

令和5年2月

龍ヶ崎市健康づくり推進部健康増進課

パブリックコメントに提出された意見とその意見に対する市の考え方

意見提出期間	令和4年12月1日（木）～令和5年1月11日（水）		
意見提出者数	2者（個人：2 団体：0）	意見件数	20件

No.	意見 No.		意見の概要	市の考え方
	No.	区分		
1	1	意見	<p>【食生活改善推進員について】</p> <p>コロナ禍での活動実績等も踏まえ、「食生活改善推進員の数」を目標値とするならば、活動内容の見直しをした方が良いと思う。食に関する様々な資格を持つ市民に協力を頂きながら、講座や教室の開催以外にもSNSでのレシピ発信などを行い、子どもや若い世代にも響く活動をしていくべきでは。</p>	<p>当市におきましては、近年における食生活改善推進員の活動状況等を鑑み、頂いたご意見にもありますとおり「団体としての活動の方向性を見直す必要がある」と判断いたしました。そこで、令和3年度中に推進員の皆様と市および県担当者との間で協議を重ねた結果、令和4年3月末をもちまして市の食生活改善推進員協議会は一旦解散となり、同時に茨城県の同協議会からも退会したところです。従いまして、新計画におきましては、「食生活改善推進員の数」を成果指標として用いることはございません。</p> <p>現在は、食生活の改善に限らず、がん・生活習慣病等の疾病予防など、市民の皆様の健康づくりを様々な形でサポートする役割を担っていただく新たなボランティア組織体制を構築すべく、準備を進めているところです。また、体制の構築に際しては、今般のコロナ禍における“新たな生活様式”への対応を踏まえつつ、リモートでの情報発信等、従来とは違った活動方法についても検討する必要があると考えております。</p> <p>食の分野につきましても、これまで食生活改善推進員としてご尽力いただいた方のみならず、ご提案のありました、食に関する様々な知識や経験・資格等をお持ちの方々にもご協力を仰ぎながら、幅広い世代に向けた事業を展開し、龍ヶ崎市の食育推進を図ってまいりたいと存じます。</p>
2	2	意見	<p>【P10, P11, P13 図表について】</p> <p>図表のセンスが悪い。文字フォントが文章のものとは異なるので見づらい。</p>	<p>当該ページの図表については、市独自で作成したものではなく、茨城県や国保データベースシステムの調査結果を参考データとして紹介したものであるため、元の図表の形などは変えることなく、そのまま掲載することとしております。</p>

2	3	意見	<p>【P13 (1) の文章について】</p> <p>サブタイトルと内容が、考え込んでしまうような文面である。状況について書かれた部分なので報告的な文章に構成した方が良い。「県内順位も 46 保険者中 37 位」の部分は「46 市町村中 37 位」としては。</p>	<p>(1) の文章は、当市における国民健康保険被保険者の年齢層や医療費などの状況および国・県との比較を示した「図表 13」について、特徴的な部分を簡潔に紹介したものであり、妥当な内容であると考えます。</p> <p>県内順位に関する部分につきましては、図表の引用元となっている「国保データベースシステム」において、茨城県内の保険者が 44 市町村のみではなく「医師国民健康保険組合」「歯科医師国民健康保険組合」の 2 団体も含んだ構成となっていることから、「46 保険者 (=44 市町村+医師国民健康保険組合/歯科医師国民健康保険組合の 2 団体)」と追記いたします。</p>
	4	質問	<p>【P13 (2) の医療費について】</p> <p>「費用額」は負担割合なしの総額という事で良いか。1 件あたりの費用は平均入院日数どのくらいなのか。「順位総数 46」の意味は。また、順位を出すなら県医療費の最高額や平均額を知りたい。</p>	<p>費用額につきましては、負担割合なしの総額の医療費です。</p> <p>「順位総数 46」につきましては、上記「意見 No. 3」記載のとおりです。「図表 14」は、「当市における疾病別医療費の現状」をご紹介しますもので、参考として県内順位も併記しております。</p> <p>「平均入院（在院）日数」や、県医療費の「最高額」「平均額」につきましては、別紙＜参考資料＞をご参照ください。</p> <p>なお、「県医療費の最高額」につきましては、患者様の病状や治療方法の選択などにも影響されます。</p>
	5	意見	<p>【P14～P20 健康診査の受診状況等について】</p> <p>健康診査受診の総括的な説明で分かりやすくした方が良い。</p>	<p>市では、乳幼児から成人に至るまで幅広い年齢層を対象とした健康診査や、歯科健診・各種がん検診を実施しております。それらを一括して説明するとかえって分かりにくくなるを考え、健診等の種類ごとに受診率の推移等をご紹介します、それぞれに総評コメントを載せております。</p> <p>また、特定健康診査に関連し、生活習慣病と密接な関係があるメタボリックシンドロームや高血圧の該当者などについての関連データも併せて掲載することで、当市の現状についての理解を深めていただきたいと思います。</p>
	6	意見	<p>【P14～P20 図表について】</p> <p>表・グラフの率や単位がバラバラである。「図表 16」の右下にある参照名称（＝「健やか親子 21」）が何か分からない。</p>	<p>各健診等の受診率については、いずれも小数点以下第一位までのパーセンテージ（百分率）としております。</p> <p>また、図表の種類によっては、受診率以外にも国・県との比較や有病率なども必要に応じて示しております。</p> <p>なお、図表 16 の参照名称である「健やか親子 21」とは、厚生労働省が展開する国民運動計画の名称ですが、ご意見を踏まえ、詳細につきましては、巻末資料の用語解説欄に追記します。</p>

2	7	質問	<p>【P21 アンケート調査の対象者について】 一般市民アンケート調査の対象者は「満 20 歳以上」が対象となっているが、成人年齢が変わったことを考慮して、今後は「満 19 歳」から対象とするのか。</p>	<p>次回アンケート調査を実施する際に改めて検討いたしますが、同じ条件の下で前回調査時との比較を行う意味合いから、現時点においては、一般市民アンケート調査については今後も「満 20 歳以上の方」を対象とする予定です。</p>
	8	質問	<p>【P23～P44 実績値の年度について】 アンケート調査の実施は 2021 年だが、評価に用いられている実績値は 2019 年度のものや 2021 年度のものやが混在しているのはなぜか。また、表のデザインが悪い。</p>	<p>P21 の (1) 本文に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症による影響で「外れ値」が出てしまい、正確な評価が出来ない恐れがあることを考慮し、「市民意識調査」の結果に基づく実績値は調査を実施した 2021 年度のもので、それ以外の実績値（＝各種健診受診率など）は、新型コロナ感染拡大前の直近データである 2019 年度のものを用いることとしています。 表につきましては、前計画（＝第 2 次健康増進・食育計画）の評価を示したものであることから、比較参照する際に分かりにくくならないよう、前計画の表から体裁を大きく変えることなく示しております。</p>
	9	質問	<p>【P24 医師会について】 「現状と課題」の本文中にある「医師会」とは、市または県の医師会か。あるいは、専門科医師会のことか。</p>	<p>本市における健康増進・食育計画の推進においては、龍ヶ崎市医師会と様々な形で連携を図り、協力体制を築きながら健康づくり事業を推進しており、ここでいう医師会とは龍ヶ崎市医師会を指しております。 計画本文中の表記につきましても、「龍ヶ崎市医師会」といたします。</p>
	10	意見	<p>【P23～P44 現状と課題について】 「改善を図るための取り組みが必要です」との記載があるが、その方向性を出していくのか見えてこない。</p>	<p>第 2 章は、「第 2 次計画」における取り組みの評価・振り返りを記載した章となっております。見出された課題に対し、第 3 次計画の推進期間中においてどのように取り組んでいくのかにつきましては、第 3 章および第 4 章で基本方針や具体的取り組みなどの方向性を示しております。</p>
	11	意見	<p>【P25～P26 ②循環器疾患・③糖尿病について】 「現状と課題」の内容がほぼ一緒だと思うので、統一しても良いのでは。</p>	<p>第 2 章は、「第 2 次計画」の評価についての記載でありますことから、同計画の分類に基づき疾患別に「循環器疾患」と「糖尿病」とを分けて記載しております。一方で、循環器疾患と糖尿病につきましては、「現状と課題」の内容が示すとおり、重症化予防の観点からも共通する事項が多いことから、第 4 章（＝第 3 次計画期間における取り組み）の中では「循環器疾患・糖尿病」という一つの項目に統合しております。</p>
	12	意見	<p>【P32 食生活改善推進員について】 食生活改善推進員の数下がってしまった原因として考えられることは何か。また、そのことを「現状と課題」に入れるべきでは。</p>	<p>意見 No.1 の「市の考え方」にも記載しましたとおり、近年はコロナ禍の影響などにより主な活動が制限されたこともあって、推進員数はベース値より増員とはなったものの、目標値には到達できませんでした。 今後は、「現状と課題」にもありますように、食の分野に限定せず、運動やがん予防など、市民の皆様の健康づくりに関して幅広く活動できる新たな形態のボランティア組織体制を構築してまいります。</p>

2	13	質問	<p>【P35 肥満に関する普及啓発について】 学校や医療機関以外においては、どのように普及啓発活動を行っていくのか。</p>	<p>市では、健診の結果メタボリックシンドロームの基準に該当した方に対し、生活習慣の見直しをサポートする特定保健指導を実施しております。また、予約制により健康相談を実施し、食生活などへのアドバイスを行い、適正体重を維持するためのサポートをしております。さらに、市広報紙や公式ホームページなど様々な媒体を活用して、幅広い世代の方に向けて周知・啓発を図ってまいります。</p>
	14	質問	<p>【P35 ①栄養・食生活について】 「糖質・糖類」も生活習慣病に影響すると思うが、如何か。</p>	<p>「糖質・糖類」の具体的な記載はありませんが、「現状と課題」にもありますとおり、肥満や生活習慣病予防のうえでは、糖質などの適量摂取を含めバランスの良い「望ましい食習慣」を身に着けることが重要であると考えております。また、個人にあった食事の摂り方にも配慮する必要がありますことから、P63の「具体的取り組み」①-1にも重点項目として掲載しております。</p>
	15	意見	<p>【P38 ②身体活動・運動について】 市は小・中学校までは連携が取れるが、高等学校に対しての連携も必要では。都市計画課の高校生アンケート調査結果では、家族送迎による通学者が4割で今後増えていく可能性もあると考えられるが、健康づくりの習慣をつけるため、公共交通機関を利用した徒歩を伴う通学を推進しては。(本件については、市の教育プランに関しても意見を提出した。)</p>	<p>個別事業の実施にあたり、必要に応じて高等学校とも連携を図りながら事業を推進してまいります。また、健康づくりを習慣づけるための「徒歩を伴う通学の推進」につきましては、P57の成果指標欄に記載のとおり、通学も含めた「生活活動の中で運動量を高める工夫をしている人の割合」について、推進を図るため目標値を「70.0%」と設定したところです。</p>
	16	意見	<p>【P41? 聴力と生活習慣との関係について】 聴力にも生活習慣が関わるのでは。生活習慣病や騒音が要因で難聴になる場合もある、という記事もある。飲食店などで、隣接席の客の会話のボリュームが大きく、うるさく感じる人などともいわれる。</p>	<p>生活習慣と健康との関連性からすれば、生活習慣の乱れは生活習慣病発症のリスクを高め、聴力を含め身体の様々な部分に悪い影響を与える可能性があります。十分な睡眠時間の確保や適度な運動、バランスの良い食事など、適切な生活習慣を身につけていただくことが心身の健康維持のうえで重要であると認識しております。</p>
	17	意見	<p>【P45 ①歯周疾患の予防について】 龍ヶ崎市には歯周病の専門医が不足している。専門的な治療ができる環境の整備・補助を推進すべき。保険適用範囲の拡大が必要。</p>	<p>ご指摘のとおり、当市内にはいわゆる「歯周病専門医」は多くありませんが、40か所を超える歯科医院が存在し、その中には歯周病に関する知識を有する歯科医師も多く在籍しており、歯周疾患も含めて患者さんの治療にあたっております。なお、健康保険の適用範囲につきましては、国が判断し、決定すべき事項となっております。</p>

2	18	意見	<p>【P53, P61, P63 事業の担当部署について】</p> <p>事業内容について、健康増進課がサポートしないのか。何でも任せきりなのは好ましくない。(学校関係の事業であれば) 教育部門と協同で進めていくべきでは。</p>	<p>各項目の「具体的取り組み」に示している担当課は、当該事業の担当部署となります。学校教育現場における児童生徒を対象とした事業であれば教育委員会の所管課が中心とはなりますが、学校で配布する健康づくりに関するチラシ等の作成や、児童生徒およびその保護者に対する個別の健康相談の実施など、健康増進課も学校や教育委員会と深い関わりを持って事業を推進しております。</p>
	19	意見	<p>【P58 ②生活活動を活用した健康づくりについて】</p> <p>「通勤・通学を活用した健康づくり」については、都市計画課や教育委員会と共に推進していくべき。</p>	<p>「生活活動」は、タイトルに例示した労働・家事・通勤・通学などをはじめとする様々な場面が考えられます。市民の皆様が日常生活の中で無理なく不足がちな運動量を増やし、健康増進に繋げていただけるよう、様々な部署と連携を図りながら有効な方策を検討し、周知を図ってまいりたいと考えております。</p>
	20	意見	<p>【P64 ②持続可能な食を支える食育の推進について】</p> <p>「具体的取り組み」のNo.17~19(=「食品ロス」に関する取り組み)を具体的に示しては。</p>	<p>売れ残り・期限切れ・食べ残し等により、本来食べられるのに廃棄されてしまう食品、いわゆる「食品ロス」の問題につきましては、今回策定する「第3次計画」から新たに力を入れて取り組むべき事業のひとつとしております。</p> <p>計画本編では事業内容を簡潔な表記としておりますが、学校教育の現場や市広報紙などを通して、子どもから大人まで、幅広い年齢層・立場の皆様に食品ロスへの関心や問題意識を高めていただけるよう、周知・啓発に努めてまいります。</p>

別紙

<参考資料> 図表 14 疾病別医療費分析【追加データ】（令和元（2019）年度）

		龍ヶ崎市			茨城県	
		1件当たり費用額 (円)	県内順位 (※順位総数 46)	平均在院日数 (日/件)	1件当たり費用最高額 (円)	1件当たり費用平均額 (円)
入院	脳血管疾患	749,112	8	19	851,813	682,797
	腎不全	705,985	24	16	866,627	719,499
	心疾患	702,065	22	10	1,591,395	693,473
	悪性新生物	674,732	28	12	795,710	688,902
	高血圧	666,130	11	17	782,641	646,486
	脂質異常症	636,518	22	15	792,370	625,554
	糖尿病	577,400	40	16	764,093	611,346
	精神疾患	437,135	35	25	617,377	461,604
外来	腎不全	124,356	34	—	222,489	134,222
	悪性新生物	59,528	35	—	84,127	64,777
	心疾患	46,612	25	—	68,749	46,943
	糖尿病	38,898	9	—	42,859	35,574
	脳血管疾患	33,793	27	—	64,117	34,390
	高血圧	29,826	20	—	37,803	29,568
	精神疾患	29,723	21	—	34,643	29,222
	脂質異常症	27,978	19	—	34,492	27,146

(国保データベースシステム)

令和5年2月10日

龍ヶ崎市長 萩原 勇 殿

龍ヶ崎市健康づくり推進協議会
会長 山村 邦 男

龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画の策定について（答申）

令和4年6月24日付け龍健増第165号をもって諮問のあったみだしのことについては、慎重審議の結果、別添のとおりとりまとめましたので、ここに答申します。

なお計画の推進に当たっては、当協議会における審議過程で各委員より出された意見を十分尊重し、計画の全体目標である「健康寿命の延伸」と「生活習慣病発症者および重症者の減少」の実現に努められるとともに、下記事項について留意されるよう要望します。

記

- 1 複雑かつ多様化する健康づくりに関する諸課題に対応するため、市関係各課が連携し、各施策を推進されたい。
- 2 本計画の推進にあたっては、市民や関係団体との連携を図るとともに、市民が主体的に健康づくりに取り組む事ができる環境整備に努められたい。
- 3 本計画が多く市民にとってわかりやすく、理解しやすいものとなるよう、事業の実施にあたっては工夫を施し、効果的な周知を図られたい。